

～住まいは循環する～

賃貸を住みこなす文化 「かごマルセンター」

○「かごマル」は、鹿児島県とマルチハビテーションを合わせた名称です。マルチハビテーションとは、複数の住まいを行き来しながら自分たちらしい生活を実現するライフスタイルのことを言います。このセンターは鹿児島県広域の空き家を全体的に賃貸物件とした活用を支援します。

鹿児島県には薩摩の武士が住んだ100か所以上の麓がありました。麓と薩摩藩の外城制度において郷土が居住していた集落であり城下町的機能がありました。現在もその面影を残し歴史ある雰囲気を楽しむことができます。かごマルセンターはそれぞれのエリアの特徴から、利用者の希望やイメージに合わせて好みの地域を選び移転後もサポートするきめ細やかなシステムです。

○かごマルセンターの役割

- ・住めなくなった時の気軽な相談
- ・エリアの設定と分類
(エリアごとの計画的な整備、広域から選択できる)
- ・物件の調査
- ・物件情報の公開
- ・物件のデータ管理
- ・家具の一括管理
(物件は家具付き)
- ・地元の大工との連携

○リフォームについて

- ・所有者の気持ち
 - ➡管理して欲しい
 - 大切に使って欲しい
 - 思い入れがあり壊したくない
- ➡大きな負担なしに循環させる仕組み

○エリア

- ①文化財に住む
入来麓、知覧麓、出水麓
- ②歴史深い市街地に住む
国分麓
- ③大隅半島最南端を満喫
佐多麓
- ④空港に近くて便利
蒲生麓
- ⑤海を楽しむ
串木野麓



【入来麓】



【出水麓】



【国分麓】



【知覧麓】

○地域への効果

かごマルセンターでは人が自由に行き来し、それぞれのエリアの魅力を住みながら感じてほしいと考えています。人の往来が多くなればその町の魅力や特徴をアピールできる機会が増えサービス向上にもつながります。また歴史に触れ街並みや雰囲気を楽しむことで地元愛が生まれるのではないかと思います。

便利な機械や施設が溢れている現代ですが、歴史を感じる自然豊かな場所で過ごしてみるのはいかがでしょうか。自分のライフスタイルに合う場所をかごマルセンターで見つけてみませんか？